

校長室より⑪

たすきリレー（梅花駅伝中止） 2月21日(月)



天龍村の春を告げる大きな行事である『天龍梅花駅伝大会』は今年もコロナウィルス感染症の影響で中止となってしまいました。天龍中ではこの大会へ参加し「チームで走ること」と「お茶や梅を使った製品を作成し販売すること」を目的に取り組んできていました。中止を受けて、「走ること」の代わりに、みんなでたすきをつないで走る「たすきリレー」を学校周辺の道路で行いました。3区間3名編成の4チームでたすきをつないで競い合いました。

ふるさとタイムまとめの会 2月28日(月)



今年度1年間かけて個人探究の時間として、ふるさとを大切にすることを考え、天龍村を盛り上げようと探究してきた「ふるさとタイム」の発表会を行いました。当初はポスターセッション形式で行う予定でしたが、一堂に会して1年間学んだことを聞き合いました。

生徒一人一人の自分なりの学びの成果が見られ、村の「もの・ひと・こと」に触れ、ふるさと天龍村に対する思いも深まった事が感じられる発表会でした。

第3回 1日併設体験 3月2日(水)



第3回の併設体験が行われ、本校の中学生も職員も、朝から天龍小学校へ登校し、1日生活しました。今回は、小中教員による相互乗り入れ授業は行わず、小中それぞれの授業を空いた時間に見合う事で自己の授業改善に活かす事や小中の児童生徒の合同学習（全校体育）を目的に行いました。小学校での複式指導の授業を参観する事もできました。

休み時間には小中の子どもたちが一緒になって校庭でサッカーをして遊ぶ姿も見られました。

子どもたちの下校後には、1日オンラインで授業の様子を参観された伏木久始先生（信州大学教授・天龍村教育アドバイザー）にご指導いただき振り返りの会を行いました。

天龍小中学校でしかできない少人数の併設での学校運営や教育活動をアドバイスしていただき、今後の授業改善や学校運営に活かしていくようにしたいと思います。

春はもうすぐそこに



天龍中学校の梅園も開花し、甘い香りが漂っています。早朝はウグイスのさえずりも聞こえてくるようになりました。朝夕はまだまだ寒く、桜のつぼみは堅いですが、確実に本格的な春が近づいてきている事を感じます。本校の3名の生徒の卒業式は3月16日です。